

資料「家畜労働安全のすすめ」を活用しよう



ヒヤリ・ハット体験を共有し、危険を予測して対策を立てましょう!

- 日々の作業で「危なかった」「もう少しで骨折するところだった」などの『ヒヤリ・ハット体験』を共有し、二度と同じことが起こらないように対策を考えましょう
- また、「危険を予測」して行動することで、事故のリスクを減らしましょう
- 危険の感じかたは人それぞれ異なります。農場で働くすべての人が「より安全に」働くことが何よりも大切です
- 資料の中に「対策トレーニングシート」も紹介していますので参考にしてください

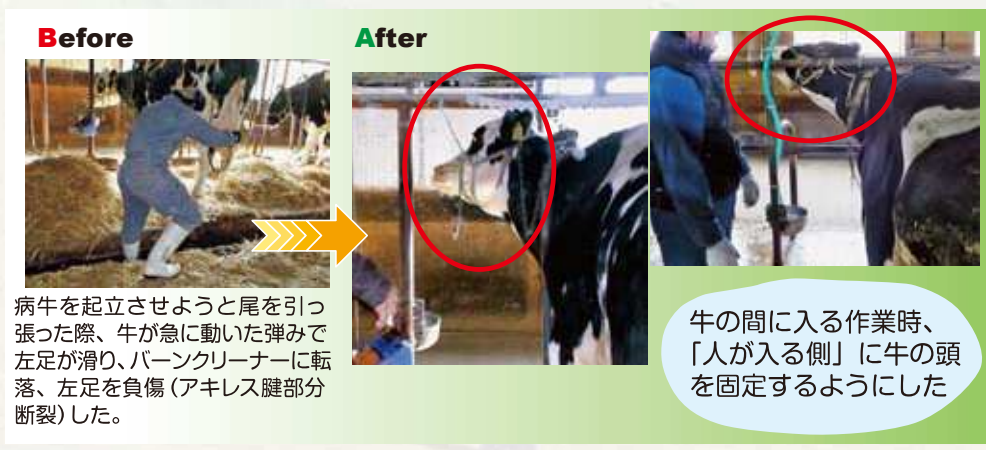


(例) 写真の「牛の移動」で対策を検討すると、以下のようになります

| 第1段階 「事実をつかむ」 | 第2段階 「原因追究」 | 優先 度合 | 第3段階 「対策を立てる」 | 第4段階 「行動」 |
|---------------------------|------------------------------|-----------|--|--------------|
| 「○○して△△になる」 | 「□□だからである」 | 印や 番号を | これからはどうする? | 出来たら ○を! |
| 牛が暴れて 引っ張られる | ロープを手に 巻き付けて牛を 移動させている | ◎ | ①ロープは手に巻き 付けない ②危ないと思ったら 手を離す、逃げる | |
| 牛が驚き 足を踏まれる 突き飛ばされる | 無理やり移動 させようとして いる | ◎ | ①大声を出さない ②帽子・安全靴・ プロテクター (右写真)を着用する | |
| 他の牛に 押される | 移動させる牛 しか見ていない | ○ | 2人以上で作業を する | |



資料には、色々な対策や道具を紹介しています 積極的に取り入れて、より安全な作業環境を目指しましょう

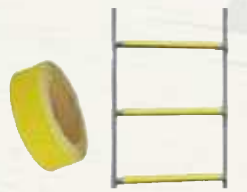


Before
病牛を起立させようと尾を引っ張った際、牛が急に動いた弾みで左足が滑り、バーンクリーナーに転落、左足を負傷(アキレス腱部分断裂)した。

After
牛の間に入る作業時、「人が入る側」に牛の頭を固定するようにした



大動物の保定時に使う「手甲ガード」



屋内外のはしごに巻き付ける「滑り止めテープ」

対策事例の一つ。農業者のアイデアをたくさん掲載しています。



資料はインターネットで入手できます。右のQRコードが「網走農業改良普及センター」で検索ください。
通常版とモバイル版(小サイズ)があります。
※資料 URL: <https://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.html>

